



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2018
平成30年
9-20
No.553

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート



長野市 ホワイトリング
2018信州総文祭
小倉百人一首かるた部門

「畳の上の格闘技」とも称される競技かるた。映画『ちはやふる』の人気も手伝い、ホワイトリングで開催された「文化部のインターハイ」、「全国高校総合文化祭」の「小倉百人一首かるた部門」には、一般観客が多数訪れていました。

各都道府県代表の高校生5名による団体戦は、男女の区別なく、詠み手も高校生。上(かみ)の句を詠み上げるや、瞬時に札を取り合う姿は、もはや体育会系ともいえるものでした。

- 長野しんきん 月例調査レポート 2
- 企業アンケート インバウンド ③ 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン 8
- 北信濃 江戸時代の風景 (50) 大門町の旅籠 10



長野信用金庫

概況 全産業

生産は2カ月連続の低下 前年同月比は23カ月連続の上昇

◇30年6月の長野県鉱工業指数

(速報：季節調整済指数)

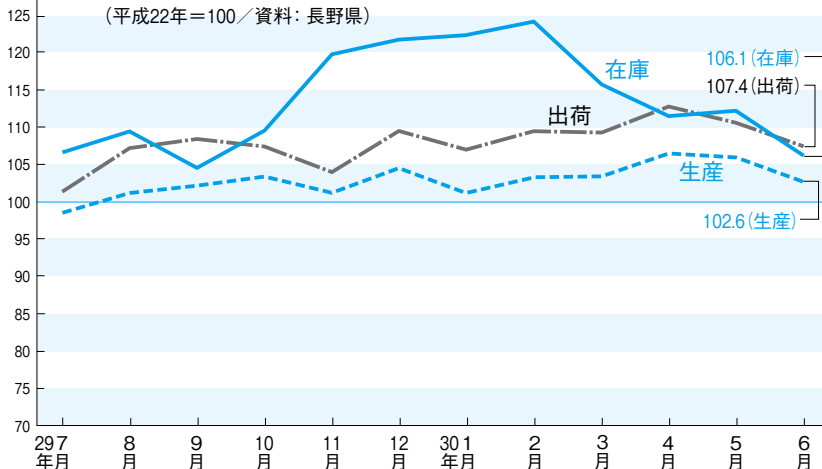
生産は102.6(前月比▲3.6%)で2カ月連続の低下、出荷は107.4(同▲3.2%)で2カ月連続の低下、在庫は106.1(同▲5.8%)で2カ月ぶりの低下となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は107.1(前年同月比+1.8%)で23カ月連続の上昇、出荷は113.6(同+2.9%)で23カ月連続の上昇、在庫は107.9(同+1.1%)で8カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移

(平成22年=100/資料：長野県)



[生産] 上昇…情報通信機械、電気機械、窯業・土石製品など7業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、その他など10業種

[出荷] 上昇…電気機械、プラスチック製品、窯業・土石製品など7業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、輸送機械など10業種

[在庫] 上昇…情報通信機械、食料品、紙・紙加工品など7業種

低下…その他、電気機械、はん用・生産用・業務用機械など8業種

月例調査

全産業の「売上高」は横ばい

前回調査 平成30年7月

◇8月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業を除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(30

%)が2割減少、「減少」割合(27%)が横ばい、「不変」割合(44%)が3割増加し、全体としては横ばいの状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比(3ポイント以上の動き)

↑ 増加 → 不変 ↘ 減少
↗ 改善 ⇐ 不変 ↖ 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回			今回	今回		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	
前	32.3	40.9	26.8				220社(回収率89.4%) 30人未満 74.5% 30人以上 25.5%
今	増加 29.9	不変 43.6	減少 26.5				205社(回収率83.7%) 30人未満 73.2% 30人以上 26.8%
製造業	34.8	45.5	19.7				66社(回収率77.6%) 30人未満 63.6% 30人以上 36.4%
建設業	34.4	42.2	23.4				65社(回収率89.0%) 30人未満 84.6% 30人以上 15.4%
卸小売業	23.9	39.1	37.0				46社(回収率80.7%) 30人未満 87.0% 30人以上 13.0%
サービス業	11.1	55.6	33.3				9社(回収率100.0%) 30人未満 66.7% 30人以上 33.3%
輸送業	11.1	33.3	55.6				9社(回収率90.0%) 30人未満 11.1% 30人以上 88.9%
外食業	30.0	60.0	10.0				10社(回収率90.9%) 30人未満 60.0% 30人以上 40.0%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」食料品・金属加工・精密機械が増加するも、全体は減少

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(35%)が8割減少、「減少」割合(20%)が1割減少、「不変」割合(46%)が9割増加し、全体としては減少の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	42.5	37.0	20.5
	今回	増加 34.8	不変 45.5	減少 19.7
食料品		33.3	44.5	22.2
金属加工		41.7	41.6	16.7
一般機械		25.0	62.5	12.5
電気機械		60.0	40.0	0.0
自動車部品		0.0	50.0	50.0
精密機械		50.0	50.0	0.0

[業種別] 増加…食料品・金属加工・精密機械

横ばい…自動車部品

減少…一般機械・電気機械

[機械稼働] (前回比) 稼働率 上昇

上昇割合 (21%) → 25%

下降割合 (11%) → 8%

[受注状況] 受注量(前回比) 増加

増加割合 (18%) → 25%

減少割合 (13%) → 13%

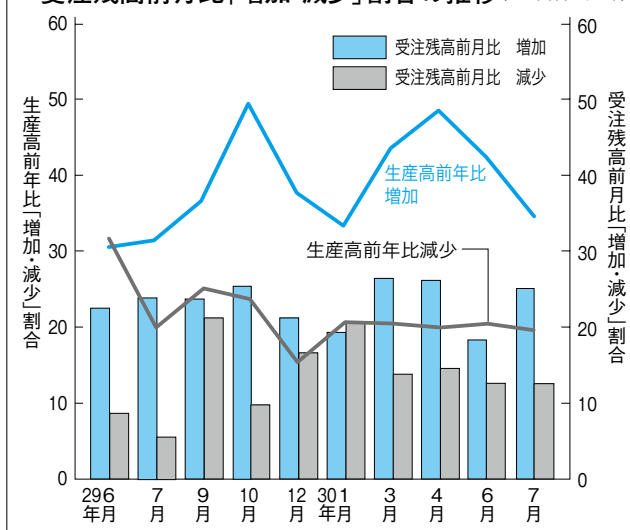
受注残高(1.8ヵ月) → 1.8ヵ月

[受注基調] (前回比) 横ばい

上昇割合 (22%) → 22%

下降割合 (14%) → 14%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(％/資料:当金庫)



企業からのコメント

☆★麺業界では、簡便性の商品が好まれつつあり、将来的に様々な方向を考えなければならない。(そば)

★☆7・8月は暑さのため受注が減少。秋冬に向けた商材の予約が前年比2割ほど増加。(漬物)

★小ロット・短納期の顧客がどんどん増えているため、作業効率悪く、売上は少ない状況。(段ボール箱)

★受注が減少している。業界としても版の量は少なめで推移。(印版・木型)

☆★中間決算前の駆け込み受注が集中。材料・エネルギーの高コスト継続で利益率低下。(金属製品)

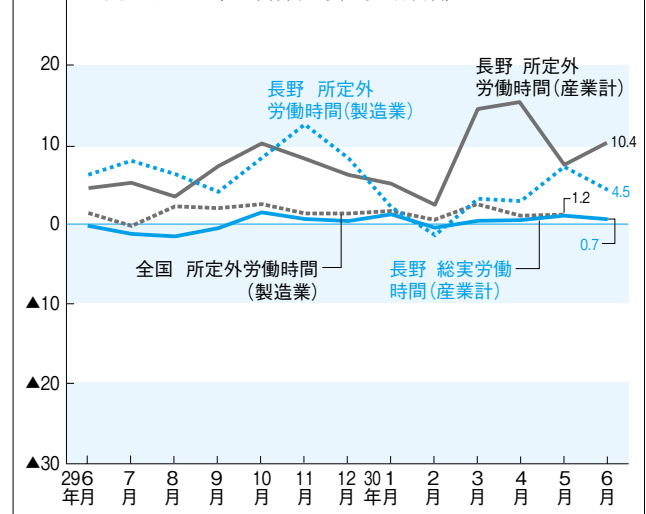
☆半導体・工作用ロボット部品の需要は旺盛である。

(ベアリング)

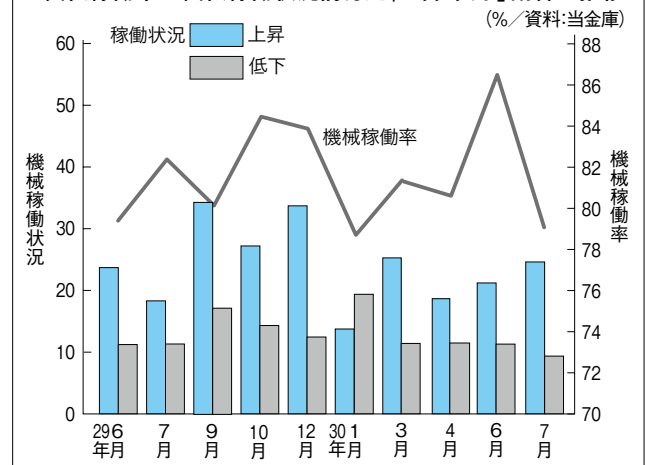
☆災害復興・東京オリンピック等の要因から国内需要は増加している。(輸送機械)

●長野県の労働時間の動き<前年同月比>

規模30人以上(％/資料:長野県・厚生労働省)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(％/資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」土木工事・建築が増加し、全体も増加

概 況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(34%)が3ポイント増加、「減少」割合(23%)が2ポイント減少、「不変」割合(42%)が横ばいで、全体としては増加の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	31.8	42.4	25.8
	今回	増加 34.4	不変 42.2	減少 23.4
総合建設業	16.7	58.3	25.0	
土木工事業	50.0	33.3	16.7	
建築業	36.4	36.3	27.3	
各種設備業	27.3	63.6	9.1	

【業種別】 増 加…土木工事・建築

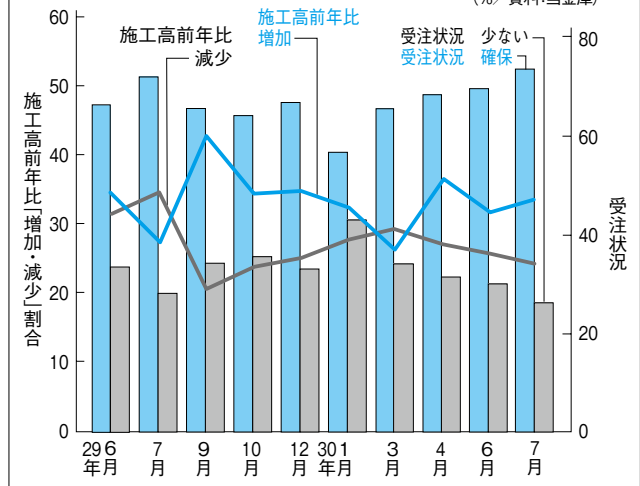
減 少…総合建設・各種設備

【受注状況】 受注残高(前回比) 改善

「多い・適正」割合 (70%) → 73%

「少ない」割合 (30%) → 27%

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移 (%/資料:当金庫)



企業からのコメント

★暑い日が続き、職人の体調管理に気を遣う。工期が遅れてもこまめに休憩を取らせている。(総合建設)

★木材価格が徐々に上昇しているのが懸念される。

(建築)

☆★集合住宅・オフィスの民間工事の積算引合いは増えているが、官公庁の発注物件は鈍化傾向にある。(内装工事)

4～7月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～7月の発注合計は、833.7億円(前年同期比▲17.0%)となりました。前年比プラスは「国」の175.9億円(同+12.3%)で、マイナスは「県」の157.6億円(同▲2.9%)、「市町村」の271.8億円(▲2.3%)、「そのほか」の227.7億円(同▲44.0%)です。

北信地区市町村の発注合計は112.5億円(同▲13.1%)で、うち長野市は25.9億円(同▲46.4%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(平成30年7月/30年4月～7月累計)

(単位=百万円/資料: 東日本建設業保証株)

		30年7月	前年同月比	30年4～7月	前年同月比
長野県	国	2,075	▲7.8%	17,590	12.3%
	県	3,773	1.7%	15,762	▲2.9%
	市町村	4,866	▲24.3%	27,179	▲2.3%
	そのほか	681	▲69.3%	22,773	▲44.0%
	合 計	11,395	▲22.0%	83,365	▲17.0%
北信地区	市町村	1,360	▲37.1%	11,252	▲13.1%
	(内長野市)	951	▲36.0%	2,588	▲46.4%

4～7月の新設住宅着工戸数

長野県の4～7月の新設住宅着工戸数は4,171戸(前年同月比▲1.7%)でした。持家が2,505戸(同▲0.5%)、貸家が1,159戸(同▲6.2%)、分譲が498戸(同+4.2%)、給与が9戸(同▲30.8%)です。

北信地区の4～7月の新設住宅着工戸数は1,254戸(同+7.3%)でした。持家が692戸(同▲3.6%)、貸家が380戸(同+18.0%)、分譲が182戸(同+44.4%)、給与が0戸(同▲100.0%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数 (平成30年7月/30年4月～7月累計)

(資料:長野県)

		持 家	貸 家	分 譲	給 与	合 計
北信地区	7月	170戸	81戸	31戸	0戸	282戸
	(内長野市)	106戸	51戸	13戸	0戸	170戸
	前年同月比	0.6%	▲13.8%	10.7%	▲100.0%	▲3.8%
	(内長野市)	11.6%	▲37.0%	▲27.8%	▲100.0%	▲13.3%
	4～7月	692戸	380戸	182戸	0戸	1,254戸
長野県	前年同月比	▲3.6%	18.0%	44.4%	▲100.0%	7.3%
	7月	658戸	256戸	101戸	2戸	1,017戸
	前年同月比	9.3%	▲25.8%	▲1.9%	▲66.7%	▲3.7%
	4～7月	2,505戸	1,159戸	498戸	9戸	4,171戸
	前年同月比	▲0.5%	▲6.2%	4.2%	▲30.8%	▲1.7%

卸小売業

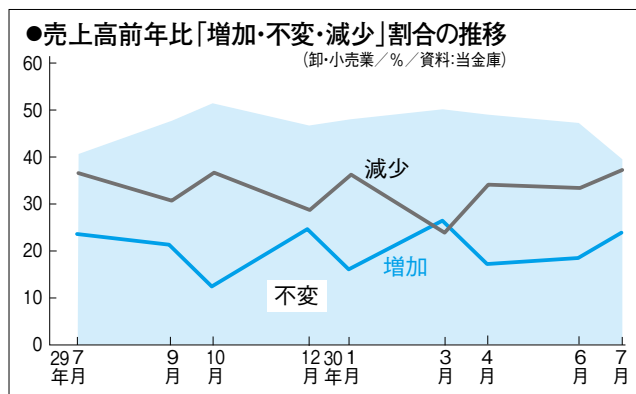
卸売業、小売業

「売上高」小売は増加、卸売は減少し、全体は横ばい

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(24%)が4ポイント増加、「減少」割合(37%)が4ポイント増加、「不変」割合(39%)が8ポイント減少し、全体として売上は横ばいの状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	19.6	47.1	33.3
	今回	増加 23.9	不変 39.1	減少 37.0
卸売業		23.5	41.2	35.3
小売業		24.1	38.0	37.9



【業種別】 増加…小売業 減少…卸売業

7月の消費者物価指数(長野市) 平成27年基準=100

◇総合指数(確報値)……101.7 (22カ月連続のプラス)

(前月比+0.2%、前年同月比+1.5%)

上昇…「食料」「交通・通信」「家具・家事用品」「水道・光熱」

下落…「被服及び履物」「保健医療」「住居」「諸雑費」

◇生鮮食品を除く総合指数…101.6 (19カ月連続のプラス)

(前月比+0.1%、前年同月比+1.3%)

企業からのコメント

- ★異業種やネット通販等の流通競争がさらに激化してきている。その影響が中小の小売業にも及んでいる。
(生鮮食料品)
- ★暑さの影響で、団子やあん菓子の売上減少が続いている。
(和菓子店)
- ★暑さの影響もあって、善光寺・仲見世への参拝客が減少している。
(土産品・そば等飲食)
- ☆中农信地区は大型物件があるので好調。北信地区も今後、中型～大型の物件が望める可能性がある。
(建設資材・工事)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」外食は増加、サービス・輸送は減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は22ポイント減少の11%、「減少」割合は11ポイント増加の33%、「不変」割合は11ポイント増加の56%と、売上は減少しています。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は9ポイント減少の11%、「減少」割合は6ポイント増加の56%、「不変」割合は3ポイント増加の33%と、売上は減少の状況です。タクシーは増加、運送は減少の状況です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は6ポイント減少の30%、「減少」割合は17ポイント減少の10%、「不変」割合は24ポイント増加の60%と、売上は増加しています。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比27ポイントの増加、前年同月比は7ポイントの減少で、宿泊利用は回復傾向です。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は28ポイント減少の22%、「引合いやや増加」は34ポイント増加の44%でした。

企業からのコメント

- ☆西日本豪雨災害地から応援要請あり。
(測量)
- ☆猛暑で高齢者の利用が伸びている。
- ★電話が一番鳴る時間帯、人手不足により配車ができず。機会損失が深刻。
(以上タクシー)
- ☆★九州・中国・四国の豪雨地への復興運搬のジュースが多く、車両手配が厳しい。
(トラック運送)
- ☆★低価格住宅は、場所に関係なく1千万円以下の引合いが多い。
(不動産)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	33.3	44.5	22.2
	今回	増加 11.1	不変 55.6	減少 33.3
輸送業	前回	20.0	30.0	50.0
	今回	11.1	33.3	55.6
うちタクシー業		33.3	0.0	66.7
うち運送業		0.0	50.0	50.0
外食業	前回	36.4	36.3	27.3
	今回	30.0	60.0	10.0

取組んでいない理由 1位 「業種内容から効果が見込めない」 75%

訪日外国人受入で不安な点 1位 「外国語を話せるスタッフがいない」 52%

企業アンケート インバウンド ③ 30年6月調査

取組んでいない理由 「業種内容から効果が見込めない」が4社に3社、「知識・ノウハウ不足」が2割強となりました。

訪日外国人受入で不安な点 「外国語を話せるスタッフがいない」が5割強、「外国人のマナー」が3割弱となっています。

取組んでいない理由

2位 「知識・ノウハウ不足」 22%

3位 「立地的に効果が見込めない」 11%

「訪日外国人の受入に取組んでいない理由」を聞きました。

「業種内容から効果が見込めない」(75%)が圧倒的に高く、「知識・ノウハウ不足」(22%)のほか、「立地的に効果が見込めない」と「情報不足」「人材不足」が各1割です。

従業員の規模で比べると、30人未満は「知識・ノウハウ不足」(24%)が10割、「立地的に効果が見込めない」(13%)が6割、30人以上より高く、30人以上は「業種内容から効果が見込めない」(84%)が12割、30人未満より高くなっています。

業種別 2位

製造 「知識・ノウハウ不足」「情報不足」各16%

建設 「知識・ノウハウ不足」 21%

卸小売 「立地的に効果が見込めない」 22%

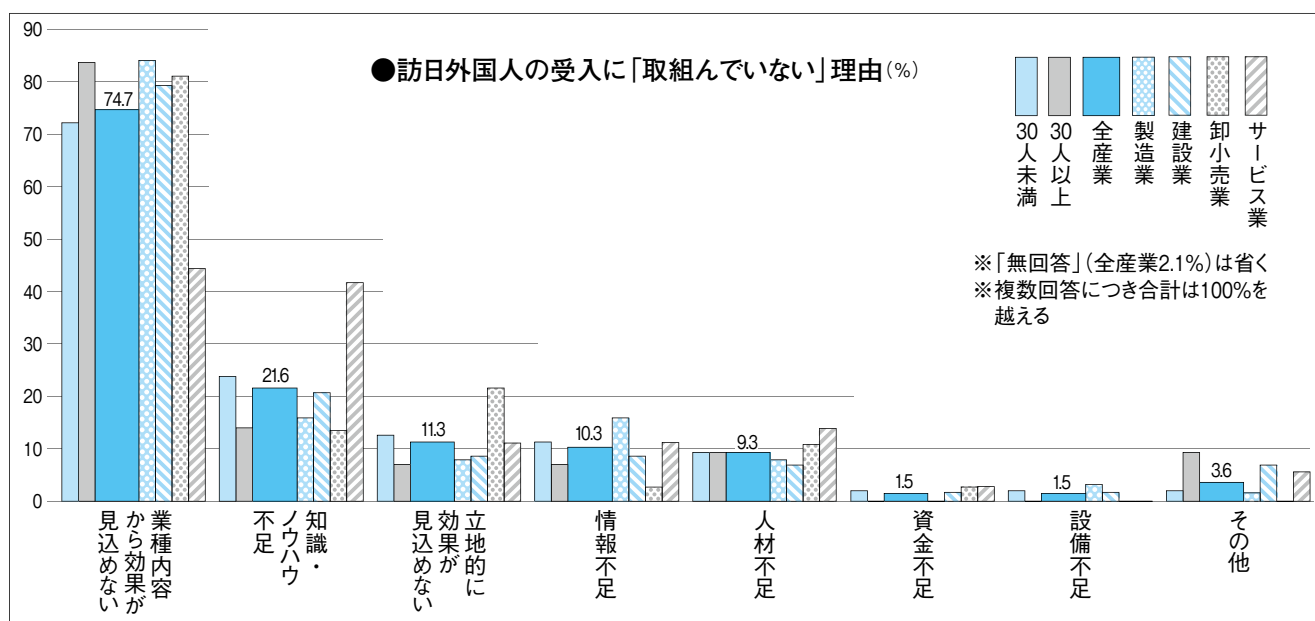
サービス 「知識・ノウハウ不足」 42%

製造業 「業種内容から効果が見込めない」(84%)と「情報不足」(16%)、「設備不足」(3%)が、他業種に比べて最も高くなりました。他方、「立地的に効果が見込めない」(8%)と「資金不足」(0%)が他業種に比べて最も低くなっています。

建設業 「その他」(7%)が他業種に比べて最も高くなりました。他方、「人材不足」(7%)が他業種に比べて最も低くなっています。「その他」には「信頼第一、素性を重視する業界色がある」の回答がありました。

卸小売業 「立地的に効果が見込めない」(22%)が他業種に比べて最も高くなりました。他方、「知識・ノウハウ不足」(14%)、「情報不足」(3%)、「設備不足」(0%)、「その他」(0%)が他業種に比べて最も低くなっています。

サービス業 「知識・ノウハウ不足」(42%)、「人材不足」(14%)、「資金不足」(3%)が他業種に比べて最も高くなりました。他方、「業種内容から効果



が見込めない」(44%)と「設備不足」(0%)が他業種に比べて最も低くなっています。「その他」には「今

のところ、日本人客のみでも業績がいいから」(旅館)の回答がありました。

訪日外国人の受入で不安な点

2位「外国人のマナー」27%

3位「接客ノウハウ」17%

「訪日外国人の受入で不安な点は何か」を聞きました。他を引き離して「外国語を話せるスタッフがいな

い」(52%)がトップとなり、続いて「外国人のマナー」(27%)、「接客ノウハウ」(17%)、「外国人ニーズに合った商品・サービス」(16%)、「外国語パンフレット・メニューの完備」(12%)が2桁になりました。ほかに「既存日本人顧客への悪影響」「クレジットカード決済」「店舗・施設の利用方法のトラブル」が1ケタで、「不安なし」は9%でした。

従業員の規模で比べると、30人未満は30人以上より5割以上高いものはありません。30人以上は「外国語を話せるスタッフがいな

い」(59%)が1割、外国人ニーズに合った商品・サービス」(20%)が6割、30人未満より高くなっています。

(22%)は他業種に比べて最も高くなりました。他方、「外国人のマナー」(22%)、「接客ノウハウ」(14%)、「店舗・施設の利用方法のトラブル」(0%)は他業種に比べて最も低くなっています。「その他」には「文化の違い」の回答がありました。

建設業 「その他」(4%)は他業種に比べて最も高くなりました。他方、「外国語を話せるスタッフがいな

い」(44%)、「外国語パンフレット・メニューの完備」(6%)、「既存日本人顧客への悪影響」(4%)、「クレジットカード決済」(1%)は他業種に比べて最も低くなっています。「その他」には「顧客の支払い能力等の情報不足」や「業種的に対応できる外国人が少なすぎる」の回答がありました。

卸小売業 「接客ノウハウ」(22%)、「不安なし」(14%)、「クレジットカード決済」(10%)は他業種に比べて最も高くなっています。他方、「外国人ニーズに合った商品・サービス」(12%)、「その他」(0%)は他業種に比べて最も低くなりました。

サービス業 「外国語を話せるスタッフがいな

い」(57%)、「外国人のマナー」(32%)、「外国語パンフレット・メニューの完備」(20%)、「既存日本人顧客への悪影響」(13%)、「店舗・施設の利用方法のトラブル」(9%)は他業種に比べて最も高くなりました。他方、「不安なし」(0%)は他業種に比べて最も低くなっています。

業種別 2位

製造「外国人に合った商品・サービス」22%

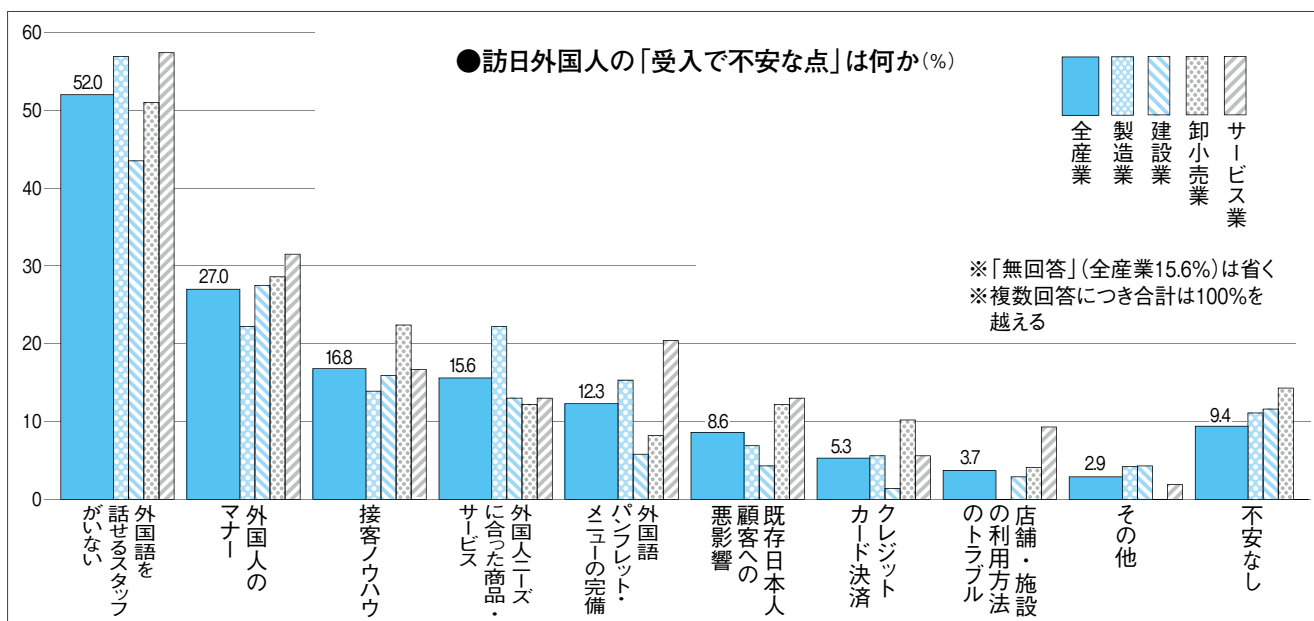
「外国人のマナー」22%

建設「外国人のマナー」28%

卸小売「外国人のマナー」29%

サービス「外国人のマナー」32%

製造業 「外国人ニーズに合った商品・サービス」





40周年の節目に思う“信頼” 新たなリフォーム領域を構築

有限会社 大甚建設
代表取締役社長 杉田敏幸さま

●創業および入社の経緯から伺います…

善光寺の宮大工をやらせて頂いた、伯父の技術習得が会社のベースとなり、昭和43年に父(幸一)が建設業を開業。伯父の名前(甚之助)の一文字“甚”を取って社名とし、昭和52年には法人化しています。

私は長野工業高校で土木を専攻して卒業、埼玉の土木会社に就職しました。現場代理人をしていましたが、実家が建築業をやっているもので、ゆくゆくは戻らなければという気持ちは常にありました。

土木は建築と似通ったところもありますが、やはり違いますね。土木の多くは公共工事であり、道路や橋、下水、造成の関係をやってきました。しかし将来的に家業を継いで経営者になるとルールが敷かれている中で、決心し切れない思いが正直ありましたが、埼玉で結婚し、平成になる前、24歳の時に長野に戻って来ました。木造住宅は奥が深いので、社長(父・現会長)の下につき、現場代理人という立場で長く経験を積ませてもらい、社長に就任したのは平成17年のことです。

●大切にされている経営理念をお聞きます…

地元根付いている工務店として、会長の時代から私どもをひいきに下さるお客様がいらっしゃるわけですね。そのお客様から電話を頂ければすぐにお話を伺いに、ライフラインなどのアフターメンテナンスは、すぐに飛んで行って、万全を期すようにしています。

毎年暮れにはお客様へ回らせて頂いています。全員の方とお顔を合わせる機会がありませんので、今年初めて実施したイベントがあります。

夏の始めに「網戸を無料で貼り替えさせて頂く」チラシをお配りし、3枚まで無料、あとは格安で提供させて頂くことで、お客様を回りました。

すると、お客様から思いがけない“温かい言葉”を頂き、誠心誠意お付き合いを続けて、お客様を大事にしていきたいと改めて感じました。

既存のお客様から、自然と「こんな工務店があるよ」とご紹介頂けるようになるのが、ベストと考えています。特に宣伝・広告は打たずに、口コミや人のつながりを大事にしていますので、お客様からのご紹介も多いんですよ。

「網戸の企画」もそうなのですが、今までお世話になったOBさんに、サッカーは興味あるかどうか分からないのですが、せっかく私ども長野パルセイロさんのスポンサーをやらせて頂いているので、「サッカー観戦」はどうだろうか、今回初めて観戦ツアーを計画しました。

長野パルセイロさんを観に行く前に、パナソニックさんのショールームで最新の住宅機器設備を見てもらい、ご案内のあと、メインはパルセイロの観戦です。ご夫婦で参加する方もあり、初めてサッカー見る方が多かったのですが、その試合は最後に追いつき、すごく盛り上がりました。17名参加され、ご満足の様子でした。

●『D-LIGHT HOUSE』を打ち出されていますが…

陽の入り方をよく考えて、窓の付け方を工夫し、常に家中が明るくなるように企画している住宅です。Dは社名のDをとった「明るい家」です。それは、お客様のご要望を聞いたうえで窓の位置を設定し、ここから光を入れた場合、どのくらいのルックスが採れるか、それを元に設計します。窓も透明じゃなく、表面がデコボコしたカタガラスで、それによって光が攪拌して明るくなることを加味したうえで、ご提案しています。

今年、会長の時代から「40周年」という節目の年ですので、今までお世話になったOBさんに、感謝祭というかたちで、場所を提供してもらっ

て、IHの料理の仕方をはじめとして、自分たちの企画でいろいろやろうかなと考えています。

●業務の概要と特性についてお聞かせください…

大工さんは外注で、1年ずっと通して仕事をしてもらっていますが、メーカーさんの住宅に比べると、取り組み難いのが在来工法の本造住宅にあると思いますね。ですから、覚えるまでにかなり時間がかかります。若い人は確かに少ないかもしれませんが、これからも木造は日本の住宅として需要が高いと思います。大工さんが高齢化している中で、若い職人さんをどう確保していくかが課題です。

また、大工さんの手間はなかなか上げられないのが現状です。外注さんは特に、自分で道具や車を用意して、経費がかかるわけですから。それを日当にある程度反映してあげたい気持ちを、ずっと前から持っているのですが、なかなかユーザーさん側に、値上げの要請は認められないのが現実です。

それに、コストの安い住宅と対比されたときには、どうしても無理じゃないですか。そういう面でも削っていかないと。ローコストの住宅を目指すつもりはないですからね。あくまでも職人さんたちは大事です。私の思いとしては、賃金を例えば1日千円上げてあげたいなというのが正直な気持ちです。



バルセイロ観戦ツアーの一場面

現在、設計会社2社と外注契約をしています。お客様との基本的な打ち合わせは、私どもが間取りからすべてご一緒にお話して決め、その概要プランを設計会社に渡して設計してもらっています。

設計から施工までをトータルに、いつでも電話一本で「補修メンテナンスに駆け付ける」その辺りを重要視したいと思っています。これからの要となるであろう“信頼”を長く築いて、お客様に接することがすべてです。

●今後の方針や展望について…

いま新築の着工件数がやや減ってきていますが、私どもはOBさんを大事にしていく中で、リフォームの方にも力を入れてまいります。器（基礎）がしっかりしていれば、改装は新築するよりもお金がかからないですし、その辺りを中心に提案していきたいと考えています。

子どもさんたちが県外へ出て、もう戻る気もないというような住宅が結構あります。住宅が空くケースを、うちも何軒も聞いているのですが、取り壊される前に上手く活用していけるような仕組みを考えたいと思います。ずっとおじいちゃん・おばあちゃんとお付き合いさせて頂いた中で、もっと上手く活用できないか、不動産屋さんとも連携して構築したいと考えます。うちで建てさせて頂いた築30～40年の建物ですから、構造などもよく知っているのです、どういう仕組みにして進めるのがベターか、これから方策を練って提案してまいります。

●事業の概要

設 立 1977 (昭和52) 年
資本金 500万円
代 表 杉田 敏幸
従業員 7名 (男5・女2)
業 務 建設業
事業所 長野市稲田2-13-13
U R L <http://daijin-ken.com>

●沿革

1968 (昭和43) 年 杉田幸一氏 個人にて建設業を開業
1977 (昭和52) 年 法人成り
2005 (平成17) 年 杉田敏幸氏 代表取締役に就任

北信濃 江戸時代の風景

(50) 大門町の旅籠

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



藤屋平左衛門

本年度は、文政10年(1827)に出版された広告集、『諸国道中商人鑑』(善光寺之部)の絵を紹介しています。今回は大門町の旅籠、藤屋平左衛門です。この旅籠については、昨年度の『北国一覧』のシリーズでも取り上げました。北国街道の善光寺宿であった大門町の西側、扇屋金四郎(五明館)の北隣にあった旅籠です。

善光寺宿では、東側の本陣藤屋平五郎と西側の藤屋平左衛門が2大旅籠で、研究者によれば、善光寺宿では宿泊者の4割強がこの2軒に宿泊したということです。幕末の志士、清河八郎の旅日記『西遊草』には、「藤屋両家はたいそう繁盛していて、2・3月の参詣者の多いところは1晩で3・4百人も宿泊させるとか」(現代語訳)と書いてあります。

絵を読む

左下の図は、『諸国道中商人鑑』にある藤屋平左

衛門の広告です。右が善光寺方面です。店先を3人の旅人が通っています。その客に店内から声をかけて招き入れようとする、女中などの姿があります。

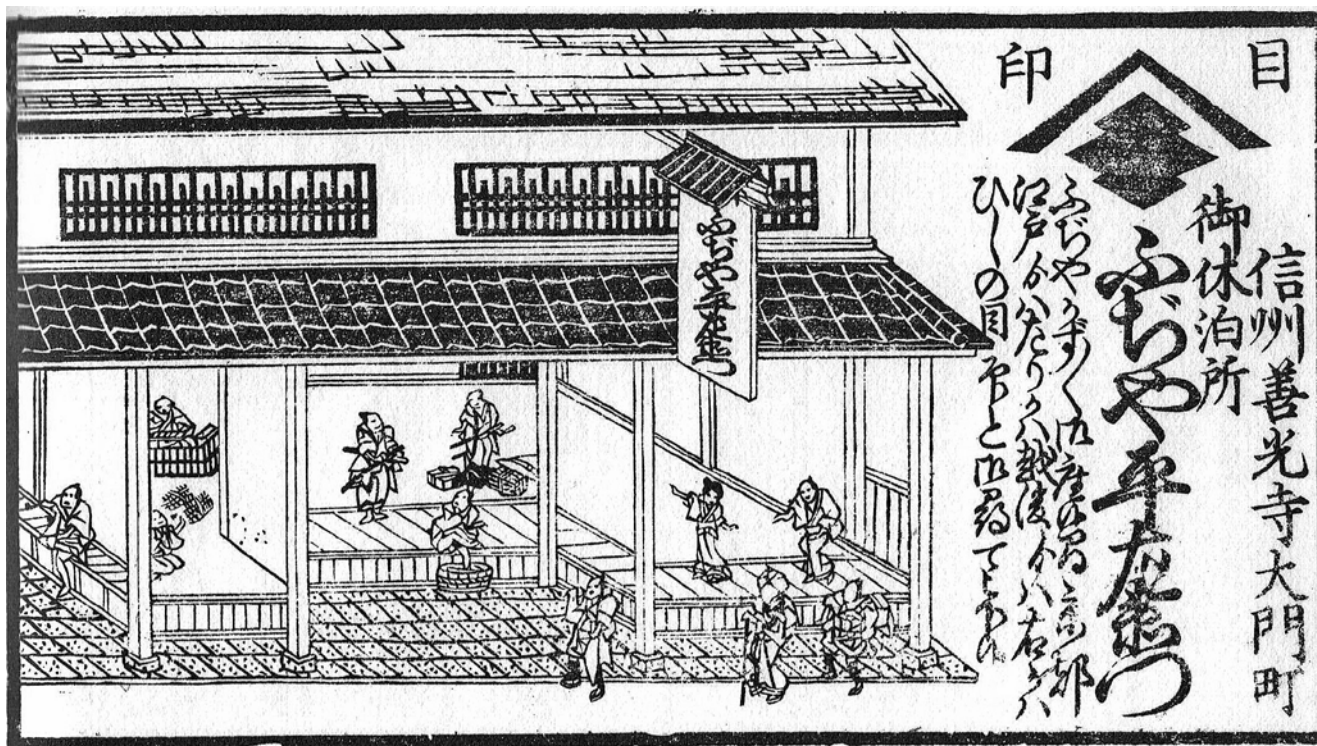
玄関には、盥で足^{たらい}を洗う旅人が描かれています。その奥には、到着したばかりらしい武士たちがいます。左側には縁に腰を下ろした男がいて、奥には帳場などが見えます。

建物は2階建てで、2階の屋根は板葺きですが、1階の屋根は瓦葺きです。「ふちや平左衛門」と書かれた屋根看板を掲げています。

広告の文字

絵の右側には、上部に「目印」の文字とともに山形(へ)と松皮菱が描かれ、その下に「信州善光寺大門町 御休泊所 ふちや平左衛門」の文字があります。その左には、次のような口上が書いてあります。

「ふちやかずかず御座候間、京都・江戸よりハ左



善光寺大門町ふちや平左衛門の図(『諸国道中商人鑑』より)

りかハ、越後より
ハ右かハ、ひしの
目印と御尋可被下
候」

(現代語訳)「藤屋
はたくさんありま
すので、京都や江
戸からは左側、越
後からは右側、菱
の目印とお尋ねく
ださい」

藤屋がたくさん
あるというのは、
善光寺の門前には
この大門町西側の
藤屋平左衛門のほ
かに、東側の本陣
藤屋平五郎、権堂
町の水茶屋藤屋祐
三郎など、他にも

藤屋があることを言っています。このほか7月号
で取り上げた東横町の酒造店藤屋茂右衛門などの
ように、旅籠以外の藤屋もありました。そうした
中でも対面している本陣藤屋平五郎を強く意識し
ていることは、「左側」「右側」といった表現で分か
ります。両者は「藤屋平」まで共通していて、紛ら
わしかったのです。

仮名書きの屋号

こうした『諸国道中商人鑑』の善光寺大門町の旅
籠の広告では、「ふぢや」(2軒)「いけだや」「ゑど
や」「つぢや」「げんきんや」「わたや」「しなのや」
「あふぎや」などと、屋号がすべて仮名で書かれて
います。これが他の業種の広告では、屋号は漢字
で書かれています。また隣の丹波島宿の旅籠の広
告も、「和泉屋」「加賀屋」「小松屋」と漢字で表記
されています。他の宿場でも、旅籠は漢字表記が
普通です。

この屋号を仮名書きすることは、大門町(善光寺
宿)が他の宿場と性格を異にしていることを示唆
しています。善光寺宿は単なる北国街道の宿場の
1つではなく、善光寺参詣者のための宿泊施設と
いう性格が強かったのです。これは、善光寺が漢



藤屋平左衛門があった大門町西側の、現在の街並み

字の読めない人々を含めて、すべての人々に開か
れた寺であったことを示しているとも言えます。

清河八郎の宿泊

大門町の藤屋平左衛門に宿泊した著名人として、
去年は伊能忠敬を紹介しましたので、今回は清河
八郎(1830~1863)を取り上げます。

清河八郎は現在の山形県庄内町の出身で、江戸
に出て学問と剣術を学びました。尊攘派の志士と
なり、浪士組を結成して近藤勇らとともに上洛し
ましたが、近藤らと別れて江戸に戻った後、暗殺
されました。

安政2年(1855)に帰郷した清河は、母を伴って
3月21日に郷里をたち、西国への大旅行をしまし
た。この旅の紀行が、『西遊草』^{さいゆうそう}です。

清河が善光寺門前の藤屋平左衛門に入ったのは、
4月14日(太陽暦では5月29日)の午後でした。善
光寺の町は元々5千余の人家があったが、善光寺
地震(1847年)で4千軒ほどに減ってしまったと、
清河は書いています。

10月号は「権堂の水茶屋」の予定です。

●外国人観光客の対応で「行政等に期待すること」

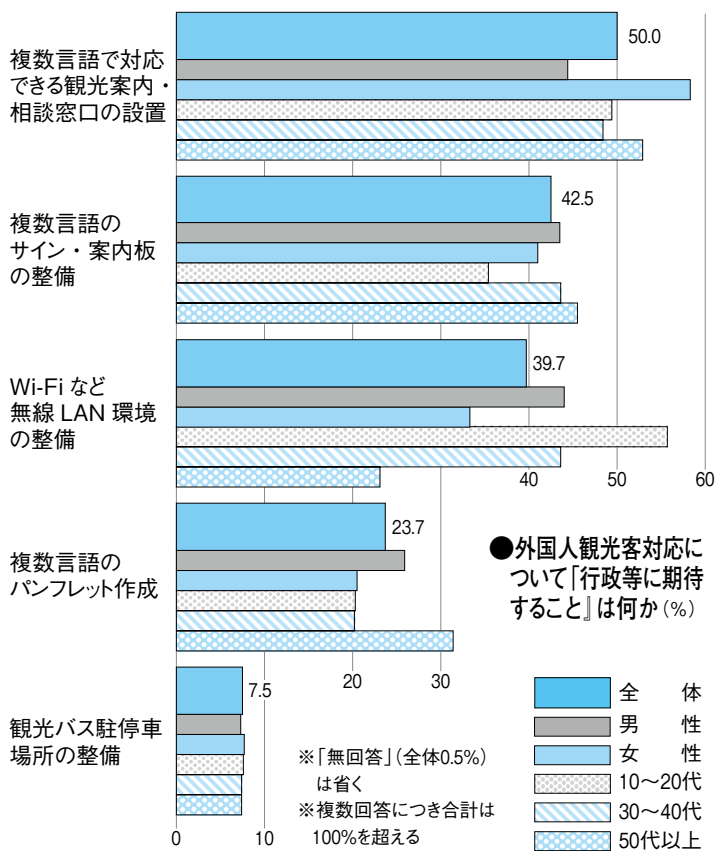
「複数言語で対応できる観光案内・相談窓口の設置」50%

「外国人観光客対応について『行政等に期待すること』は何か」を聞きました。

1位は「複数言語で対応できる観光案内・相談窓口の設置」がちょうど50%、2位の「複数言語のサイン・案内板の整備」(43%)と3位の「Wi-Fiなど無線LAN環境の整備」(40%)は40%台、ほかに「複数言語のパンフレット作成」(24%)と「観光バス駐停車場所の整備」(8%)があがっています。

女性は「観光案内・相談窓口の設置」(58%)が、10～20代は「無線LAN環境の整備」(56%)が、50代以上は「サイン・案内板の整備」(46%)と「パンフレット作成」(31%)がほかより高くなっています。

〈当金庫・30年6月調査〉



●外国人観光客対応について「行政等に期待すること」は何か (%)

全体
男性
女性
10～20代
30～40代
50代以上

●みなさまの経営相談のご案内 [10月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
10月 2日 火	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	10月16日 火	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)
3日 水	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	17日 水	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)
4日 木	長池支店 (大豆島支店)		22日 月	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
9日 火	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)	24日 水	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
11日 木	権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)	26日 金	本部	
12日 金	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	29日 月	本部	

●10月の「しんきん事業相談会」は10月3日(水)です



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

●「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます●

